



## 第II弾 平館高校と交流 いわての復興教育推進事業（交流学习スクール）

12/17(木)、本校会場に家庭クラブの活動が盛んな平館高校生徒と交流することにより、家庭クラブの活動の参考にするとともに、復興しつつある山田町への理解を本校生徒及び平館高校生徒ともに深めることを目的に交流学习スクールが開催されました。

### 1 交流の経緯

本交流は、震災直後の2011年5月、平館高校山岳部の生徒が、テント持参で本校敷地内に宿泊し、町内でボランティア活動を行ったのがきっかけで始まった。翌年からは、県高校校長協会横軸連携事業を経て交流学习スクールへと発展し、今年度が記念すべき10回目の交流となった。

交流内容も多岐にわたり、平館高校家庭クラブの生徒が来町し、山田町の商店街の「いちび」で、八幡平市の特産品販売、子どもやお年寄りとの交流を実施することもあった。昨年度より、交流の形態を変え、お互いの学習成果の共有、発表技術やコミュニケーション力を育成するとともに、お互いの町の特徴を理解することを通し、それぞれの価値を共有し、また新たな価値を生み出すことに重きを置く交流となった。

### 2 調理活動

山田町は、江戸時代にオランダ船が嵐を避けるために寄港した歴史があり、また東京オリンピックのホストタウンとして、オランダ料理の普及に努めている。

そこで、外部講師を招聘して指導を受け、山田町の食材を使用したオランダ料理（ビスパネチェ、オムレツ等）を調理し、昼食会を開き交流した。平館高校からは家庭クラブ委員8名が、本校からは家庭クラブ委員及び3年フードデザイン選択生の8名、合計16名が各調理台に2名ずつを配して交流を行った。



### 3 生徒会交流

両校の生徒会執行部一人ひとりによる自己紹介を皮切りに生徒会交流が始まった。その後、各校20分の持ち時間で、パワーポイントや模造紙を活用し、生まれ育った地域のすばらしさ、学校紹介や生徒会執行部の取組状況を発表した。



休憩を挟み、フリートークにより、小規模校だからこそ抱えている課題として部活動の活性化を挙げて意見交換を行った。

### 4 交流行事

#### (1) 平館高校家庭クラブ

「エコ活、はじめの一步！～ならではのマイバッグへ続く道～」発表



同校家庭クラブは、エコバッグ作りを通してプラスチックごみの削減に関する研究活動を進めてきた。使いやすさや地元らしさを工夫し試作を重ねながら、環境問題を自分ごととして捉え理解を深めている。

家庭クラブは、7月からのレジ袋有料化を受け、海洋汚染につながるプラスチックごみの削減をテーマに校内外で研究を展開している。

また、研究や継承に取り組む草木染「紫根染」や、八幡平市の地熱蒸気染めをベルトなどに用いて地元らしさも取り入れているという。

#### (2) 山田高校1年生:復興・防災学習「碑の記憶」発表

災害の歴史は、数十年おきに繰り返されている。過去の教訓はなぜ活かされなかったのか、この疑問から生まれたのが「碑の記憶」である。先人の想いをつなぐ石碑や明治から昭和初期の岩手日報社の新聞記事を題材として、生徒は研究を重ねてきた。

#### (3) 山田高校2年生:復興・防災学習「復活の記憶」発表

ふるさとは、どのように復活しつつあり、そしてどのような課題を抱えているのか。これは、多くの新聞記事を通して先人の想いを学んだ生徒たちが気づいた「問い」である。「復活の記憶」では、山田町の軌跡をたどり、水産業や観光資源に目を向けた探究活動を展開している。



### 5 生徒の感想

#### 【平館高校 1年 高橋 愛雄 さん】

山田高校は津波という問題を考え、平館高校は岩手山の噴火という問題を考えており、どちらも自然災害という共通点がありました。私は、津波の理解はまったくありませんでした。山田高校の発表を聞いて、碑の意味について学ぶことができました。意見交換の時間では、どちらも小規模校という点や服装などの決まりという点など、共通点のある学校同士であると思いました。また、山田高校は海に近いからできる行事があり、楽しそうだなと思いました。

#### 【平館高校 2年 伊藤 亜紀 さん】

今回の交流学习スクールを通して、私は山田高校とのつながりを初めて知りました。また、山田高校の発表を聞いて、研究していることは違っても、地域のためだったり普及活動をしているということから、お互いにつながっていると感じました。調理活動では緊張したけれど、作っていくたびに話もたくさんできて交流を深めることができました。一緒に作っておいしく食べることができて良かったです。発表もミスなくできたので良かったです。

#### 【山田高校 2年 佐々木 海音 さん】

交流学习スクールでは、両校の現状をそれぞれが見つめ直し、意見交換をすることができました。また、平館高校の家庭クラブの発表を聞いて、次年度の総合的な探究の時間の発表に生かすことができると感じました。お互いの良いところはどんどん取り入れ、さらにより良い学校を作りあげていきたいです。コロナ禍での交流学习スクールでしたが、今後の生徒会運営をより良くしていくための取り組みでもあり、開催できたことをうれしく思います。これからも平館高校との交流を続け、お互いの学校を高め合えるような活動をしていきたいです。

#### 【山田高校 3年 松崎 寧緒 さん】

今年は、コロナ禍で大変な状況でしたが、平館高校の皆さんと山田とつながりのあるオランダ料理と一緒に作り交流を深めることができ楽しかったです。また、平館高校の家庭クラブの発表が全国大会に出場していることを知り驚きました。実際に発表を聞いて、エコバッグを作製していることを知りました。現在の日本の問題点を改善させるとともに、平館高校の伝統も取り入れながら作製していてすばらしいと思いました。

